

しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシエット

NO. 10

新緑の青葉にすがすがしさを感じる季節となりました。体調を崩さず元気に過ごせるといいですね。

《水痘(水ぼうそう)が流行しています》

市内の保育所、小学校で水痘(水ぼうそう)が流行している施設があります。

水痘(水ぼうそう)は、空気感染(麻疹(はしか)や結核と同等)します。

水をもった赤い発疹が、口の中から陰部、お顔や頭(頭髪の中)まで含み、全身に出ます。水痘と診断されると、抗ウイルス薬や塗り薬が処方されます。抗ウイルス薬を開始してから12時間くらい経過すると、新しい発疹の出現は減ってきます。

水痘(水ぼうそう)に罹患してしまうと、将来的に帯状疱疹を発症するリスクが生じます。

水痘の予防接種は2回必要です。

3ヶ月以上(標準的には6ヶ月)の間隔をあけて2回接種します。

ワクチンは1歳以上全年齢で接種可能で、大変効果的です。1回もワクチン接種をしていないお子さんが水痘を発症してしまうと、発疹が出現する2~3日前から周囲に大量のウイルスをばらまき、周りの多くのお子さんたちを感染の危険に曝してしまいます。

この場合、ワクチンを1回しか接種していないお子さんはおおよそ3~4割程が罹患してしまいます。ワクチンを2回接種しているお子さんも数%程度に皮疹がみられて発症する場合がありますが、総じて極めて軽症で、ばらまくウイルス量も少ない事が特徴です。つまり、保育施設や幼稚園・学校などでは、常日頃から、在籍する子ども達の水痘ワクチンの接種歴や罹患歴を把握して(水痘や麻疹や百日咳など、乳幼児ではロタウイルスなども含めて、接種歴や罹患歴の管理台帳を作成されることをオススメします)未接種、未罹患者に接種勧奨を行うことが大切です。また、水痘発症者が出ってしまった場合は、未接種・未罹患のお子さんは水痘の潜伏期である可能性を考慮して、発症して他児に2次感染・3次感染させないように保護者の方に対して早期に個別に対策を指導していただくことが重要です。



地域の子どもの健康と安心のために、引き続きご理解とご協力をお願い致します。

流行状況 (H29.4/1~4/30 検査陽性者のみ)

	市内		市外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	160	70	86	62
アデノウイルス	4			
水痘	11	16	1	2
メタニューモウイルス	3		2	
インフルエンザ A	2		2	3
インフルエンザ B	6		5	10

対象：当院受診者

しろやぎさんのポシエットのお薬の時間

しろやぎさんのポシエットでは、お薬を飲むときは看護師がお手伝いしています。粉薬や粒の薬をそのまま上手にゴックンできるお子さんもいますが、お薬が苦手なお子さんもあります。粉薬は少量の水に溶かしてスポイトでお口に入れてあげます。

同じ部屋にお友達がいる時は、お薬を飲むことが上手なお子さんにお手本になってもらったりもします。どうしてもお薬が嫌なお子さんや赤ちゃんは、体を仰向けにゴロンとして、少量ずつ、口角側からお薬を飲ませてあげて、うまく飲めたときはたくさん褒めてあげます。



今月の遊び紹介

お外では花々が咲き誇る季節となりました。しろやぎさんの部屋では、今日来たおともだちと、毛糸とフェルトを使ってタンポポの花づくりをしました。

【作り方】

1. 毛糸でポンポンを作ります。結び糸は長めに残しておきます。
2. 1よりひとまわり大きな緑色のフェルトをギザギザに切ります。真ん中にはさみで小さな切れ目を2つ入れます。
3. ポンポン玉の結び糸の端をフェルトの穴にそれぞれ1本ずつ通し、裏側で2本の毛糸を片結びするとできあがり。バックに結びとかわいいです！



お問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科 病児の保育しろやぎさんのポシエット TEL: 090-2542-5630